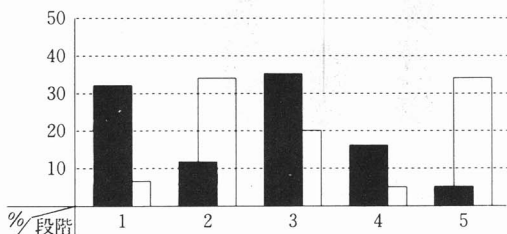


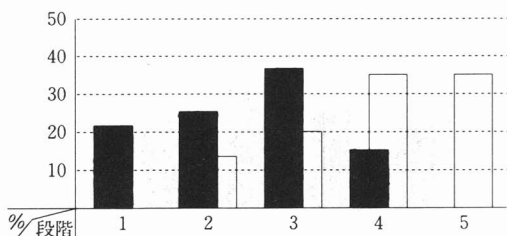
てのまとまりがない因子である。個人差が最も
 多くなっているが、男子は1, 2, 3段階で80

⑧反(学習)価値観

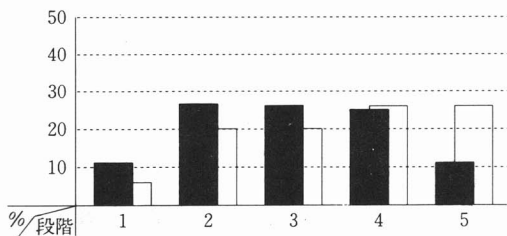


○ 前述⑦と同じ分布図であり、わずかに女子が
 男子に比して優位を示している。個別指導によ
 って高位への移行が望まれる。

P 得点



N 得点



T 得点

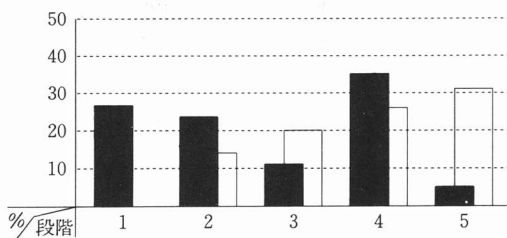


図8 因子別及びP・N・T得点の段階ごとの割合

○ 学習意欲をP, N, T得点からみると男子より
 も女子の方が高位を示している。特にP得点
 においてその差が著しい。

女子は、1段階がなく段階があがるに従って
 多くなっているが、男子は1, 2, 3段階で80

%以上を示しており、指導や援助の必要性を感
 じる。N得点においては男女ともほぼ同じ傾向
 を示している。

3) 知能と学習意欲との関係

表7 知能と学習意欲の関係

数字……男子
 (数字)……女子

知能 \ 学習意欲	低位群 (44以下)	中位群 (45~54)	高位群 (55以上)	計
低位群 (1, 2)	3 (1)	5 (1)	1	9 (2)
中位群 (3)	1 (1)	(2)		1 (3)
高位群 (4, 5)	1 (2)	3 (3)	4 (5)	8 (10)
計	5 (4)	8 (6)	5 (5)	33

表7は知能(教研式知能検査)と学習意欲の関
 係を考察するためにまとめたものである。表から
 知能と学習意欲について考察すると次の点が指摘
 できる。

ア. 知能が高位群にいて、学習意欲が高位群を示
 すものが多い。つまり男子で知能が高位であり、
 学習意欲で低位を示すものが1名いる。これは
 個別指導が必要と思われる。しかし、その他は
 男子で4名、女子で5名は学習意欲も高位を示
 している。

イ. 知能が低位のもの男子5名中学習意欲で低位
 のものは3名で、女子4名の中1名である。知
 能の中位をみると男子は学習意欲の低位が多い
 が、女子においては学習意欲が高位を示してい
 る。

これは、男女全体の学習意欲の強さの傾向と
 一致しているものと思われる。したがって、学
 級全体の学習意欲を高めていく指導の中で一人
 一人の学習意欲を高めることが大切であることを
 示している。

4) 個人ごとのプロフィール

小学5年生34名に実施した学習意欲検査の中で、
 特徴のあるプロフィールを示した児童4人につい
 て、考察を加えてみることにする。なお、知能偏